

日本近代古典傑作選

作
谷
崎
潤
一
郎

お国と五平と



演出 マキノノゾミ

作
小
山
内
薫

息子



2016年 9月17日(土) 午後6時30分開場 午後7時開演

会場 黒部市国際文化センター コラーレ (カーターホール)

プレイガイド

コラーレ、黒部メルシー、魚津サンブラザ、入善コスモホール、
アーツナビ (富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
チケットぴあ (Pコード452-296)

お問い合わせ 黒部市国際文化センター TEL 0765-57-1201 毎週水曜日休館

2016年 9月19日(月・祝) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場 高周波文化ホール (新湊中央文化会館) 小ホール

プレイガイド

高周波文化ホール、アイザック小杉文化ホール、富山大和6F、高岡大和4F、
アーツナビ (富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)

お問い合わせ 高周波文化ホール TEL 0766-82-8400
毎月第3月曜日休館 (祝日の場合は翌平日)

入場料金 全席指定 一般 3,000円 / 高校生以下 1,000円 チケット発売日 6月25日(土)

※未就学児の入場はご遠慮願います。

※公演中の一時保育(無料)を希望される場合は9月10日(土)までにお申込みください。

主催 (公財)黒部市国際文化センター
(公財)射水市文化振興財団

共催 北日本新聞社、チューリップテレビ
後援 富山県、富山県公立文化施設協議会、黒部市、黒部市教育委員会、射水市、射水市教育委員会、FMとやま
助成 (一財)地域創造



平成28年度文化庁
劇場・音楽堂等活性化事業

作 小山内薫

息子

文豪 谷崎潤一郎と

劇聖 小山内薫の短編劇

大正時代の傑作が蘇る…

男と女、父と子二つの情の物語

作 谷崎潤一郎

お国と五平

武家の後家・お国(七瀬なつみ)は夫の敵・池田友之丞(佐藤B作)を探するため、若徒の五平(石母田史朗)とともに仇討の旅に出た。それからすでに3年の月日が経ち、お国と五平の心はいつとはなしに相寄っていた。そんな二人が旅の途中で休んでいると、そこに姿を現したのは、なんと友之丞であった。男女の纏れ合う嫉妬と愛憎を、狂気を孕んで描く谷崎潤一郎の傑作戯曲。

… 老爺(佐藤B作)の火の番小屋へ若い男(佐藤銀平)がやってくる。老爺は内へ入って火に当たれとすすめた。しばらく話をするうちに二人の感情は互いの境遇にまで触れていた。大阪へ行っていたという若い男。老爺の息子も大阪へ行って、久しく消息を絶っている。やがて捕吏(山野史人)が姿を見せると、若い男はなぜかそわそわしだした。雪降る一夜を温かくも切なく綴る父と子の物語。



石母田史朗

七瀬なつみ

佐藤B作

佐藤銀平

山野史人

STAFF

作	「お国と五平」谷崎潤一郎
	「息子」小山内薫
演出	マキノノゾミ
美術	奥村泰彦
照明	中川隆一
音響	内藤博司
衣裳	三大寺志保美

演出助手	郷田拓実
床山	上田喜三郎
かつら	細野かつら店
舞台監督	森和貴
宣伝写真	加藤孝
宣伝美術	株式会社カラピナ
宣伝ヘアメイク	荻野明美

宣伝衣裳	牧野iwao純子
題字	渡邊茜華
制作	伊藤しおり、澤村潤、馬場順子
プロダクションマネージャー	村松明彦
プロデューサー	衛紀生

地域交流プログラム

戯曲講座 「芝居の作り方 わたしの方法」

講師 マキノノゾミ

日時 7月 9日(土) 14:00~16:00

黒部市国際文化センターコラーレ
TEL 0765-57-1201

対象 高校生以上

7月10日(日) 14:00~16:00

高周波文化ホール
TEL 0766-82-8400

参加費 1,000円

定員 20名(要予約)

内容 「戯曲ってどうやって書くの?」「お芝居ってどうやって作るの?」など、演劇界の第一線で活躍する劇作家・演出家のマキノノゾミさんを講師に迎え、普段は聞けないお芝居の作り方をお話します。芝居作りのヒントが盛りだくさんのスペシャル講座です。